

2022 年度

豊岡市支えあう地域のしくみを考える意見交換会

実施報告書



2023 年 3 月

豊岡市地域コミュニティ振興部

コミュニティ振興課

自分たちの地域は
自分たちでつくる。



目次

I. 支えあう地域のしくみを考える意見交換会の概要	2
II. 全体意見交換会の結果	3
III. 地区別意見交換会の結果	5
IV. まとめ	14

I. 支えあう地域のしくみを考える意見交換会の概要

意見交換会の目的

市では、2021年度に実施した「支えあう地域のしくみを考えるアンケート」の結果を市民の皆さんと共有し、今後の地域コミュニティづくりの進め方を一緒に考えるため、2022年6月から順次、地域コミュニティごとに意見交換会を開催しました。

意見交換では、アンケート結果を基に地区の課題や、地域コミュニティ組織が担う役割などを話し合いました。

また、地域コミュニティづくりを進めるうえで行政に期待することについて、出席した市長や市職員と共有し、地区の実情について相互に理解を深めました。

意見交換会の様子



▲ 奈佐地区



▲ 竹野地区



▲ 寺坂地区

Ⅱ. 全体意見交換会の結果

1 実施結果の概要

市全体のアンケート報告と、今後多くの地区で実施する地区別意見交換会で重要となる視点について、アドバイザーからアドバイスを頂きました。

- ・ 実施日 7月3日(日)
- ・ 参加者 95人(地域コミュニティ組織役員等)
- ・ 内容 2021年度実施のアンケートを使った意見交換 他
- ・ 開催方法 一部オンラインによるハイブリッド開催



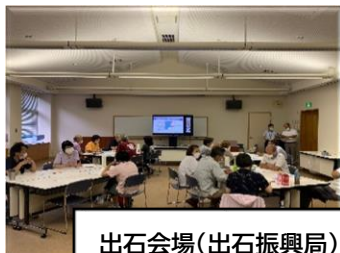
豊岡会場(市役所庁議室)



竹野会場(竹野地区コミュニティセンター)



日高会場(日高地区コミュニティセンター)



出石会場(出石振興局)



但東会場(合橋地区コミュニティセンター)

2 事例紹介

柏木 登起アドバイザー

「地域コミュニティ組織と区・町内会」の連携・役割分担について事例紹介をしていただきました。

■アドバイザーのコメント(抜粋)

補完性の原理のもと、地域コミュニティ組織事務局が区・町内会の情報交換の場をコーディネートしたり、単位行政区では難しい、情報の取りまとめや広報のサポート等の役割を担っていくことが重要。



3 意見交換

コーディネーター 井原 友建アドバイザー

「高齢者への声掛け、見守り活動」「買物支援や交通弱者への対応」について、アドバイザーのコーディネートにより、地域コミュニティでどう向き合い、何が出来るかを参加者が意見交換しました。

意見交換で出された主な意見

■高齢者への声掛け、見守り活動

- ✓ 見守り活動は区長や民生委員、隣保長が中心に行っている。地域コミュニティは各区の情報交換。いろいろな方策の橋渡しが役割だと思う
- ✓ サロンを区・町内会へ出かけて情報交換や情報収集が出来ないか

■買い物支援や交通弱者への対応

- ✓ 地域コミュニティ組織で対応できないか。イナカーの代替手段の検討も必要。乗り合いタクシーの検討もしたい
- ✓ 買い物支援はすぐできることとして、移動店舗の情報提供など、今あるものを活用したい
- ✓ 買い物支援は、あまり考えてこなかったが、最近ワークショップをして意見が出てきている。高齢者で免許返納した方が多い。今後、区、地域コミュニティで検討したい

■アドバイザーのコメント（抜粋）

区・町内会がずっと活動をやり続けられるのかをそろそろ考えていく必要がある。意見交換を通じて補完性をイメージしていただきたい。



4 全体講評

作野 広和アドバイザー

今回の意見交換会全般のまとめと講評をしていただきました。

■アドバイザーのコメント（抜粋）

地域コミュニティは志縁。この指とまれでいかに集めるか。志のあぶり出しと醸成が豊岡では必要。
今回のアンケート結果なども踏まえ、地域コミュニティ、区・町内会間の情報整理、具体的な問題解決の実施、地域の縮小に対して、知恵や工夫で補えることと見直していくことの整理が必要。



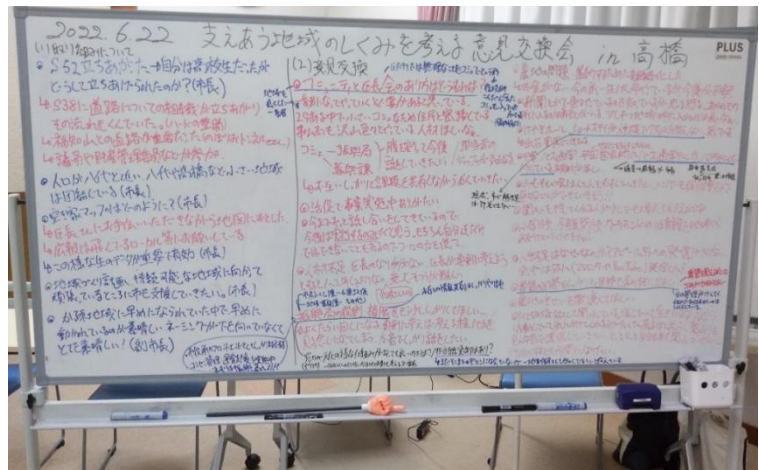
Ⅲ. 地区別意見交換会の結果

1 実施の概要（実施日、参加者数、意見交換方法）

参加者、意見交換の方法は各地域コミュニティ組織と相談し、表1のとおり実施しました。

表1 地区別意見交換会の実施概要

地区	日にち	参加者数	意見交換方法		地区	日にち	参加者数	意見交換方法	
			対面式	グループワーク				対面式	グループワーク
1 豊岡	9月10日	34	○		16 八代	9月22日	25		○
2 八条	9月10日	42	○		17 日高	11月25日	33		○
3 三江	10月17日	22	○		18 三方	8月10日	16		○
4 田鶴野	9月21日	21		○	19 清滝	9月3日	27		○
5 五荘	10月5日	19	○		20 西気	8月17日	18		○
6 新田	9月20日	15		○	21 弘道	10月3日	21		○
7 中筋	10月6日	21	○		22 菅谷	9月2日	16		○
8 奈佐	8月4日	27		○	23 福住	9月9日	36		○
9 港	9月30日	29	○		24 寺坂	8月21日	18		○
10 神美	9月26日	20	○		25 小坂	10月8日	20		○
11 城崎	11月29日	28		○	26 小野	9月28日	12		○
12 竹野南	10月20日	5	○		27 資母	8月7日	25		○
13 中竹野	8月5日	18		○	28 合橋	9月16日	30		○
14 竹野	8月6日	13		○	29 高橋	6月22日	25	○	
15 国府	10月8日	17		○	合計		653	9	20



▲意見交換会の様子(高橋地区)

2 地区別意見交換会と地域コミュニティビジョンとの関連付け

市では、2019年度、豊岡市地域コミュニティビジョンを策定し、「地区が目指す姿」や「実現のための方策」を示し、持続可能な住民自治運営を目指しています。

今回の意見交換会で話題となったテーマ・内容等について表2、表3のとおり地域コミュニティビジョンと関連付けて整理し、今後必要な市の施策・支援等の参考とします。

表2 意見交換の話題となった「地域での活動」とビジョンとの関係

基本方針	具体的なコミュニティ像	話題となった地域での活動
(1)住み続けられる地域の維持	①地区住民みんなが持続可能な住民自治が行われている	■ 財産や建物の共同管理
	②地区で子どもを育てる体制ができている	■ 防犯・子ども見守り ■ 子育て支援活動
	③地区にU I ターンする若者が増えている	■ 空き家・空き地の対応 ■ 移住・定住の推進
(2)暮らしやすさの持続	①地区の防災力が高まっている	■ 防災活動・防火活動
	②地区で住みよい環境が守られ活かされている	■ 清掃、草刈り、美化活動 ■ 耕作放棄地の解消・営農組織設立
	③地区のすべての人が支え合っている	■ 高齢者への声かけ、見守り ■ サロン、介護予防、福祉 ■ 買い物支援・交通弱者対応
(3)個性ある地域の誇りづくり	①地域の資源を活かして地区が豊かになっている	■ 特産物の開発や加工品の生産・販売
	②地区の伝統や文化が次世代にうまく継承されている	■ 文化・伝統行事の継承
	③地区住民が学び合い豊かに生活している	■ 健康、スポーツ、レクリエーション ■ 学校利活用

表3 意見交換で話題となった「地域コミュニティ組織の運営・機能」とビジョンの関係

大項目	小項目	話題となった地域コミュニティの運営・機能
(1)組織力の深化	①住民意識の深化	■ 住民の声を拾う
	②地域コミュニティ組織と行政区との関係	■ 区とコミュニティ
	③地域づくりに関わる人材の発掘・育成	■ 行事や活動への参加者 ■ 事務局職員の待遇
(2)活動力の向上	①地域づくり計画の策定と実行	■ 活動の硬直化
	②指定管理者制度	■ 活動内容・活動一般
	③地域コミュニティ組織の法人化の検討	■ 指定管理制度
	④地域コミュニティ組織の財源の確保	■ 資金の確保
(3)協働の深化	協働の推進	■ 区負担軽減 ■ 職員との連携

※各地区での意見交換会の進め方が異なるため、分類分けが地域の意図と若干異なる場合があります。

3 意見交換で話題となったテーマ・内容等（主なものを抜粋。（ ）内は話題があがった地区）

●地域での活動について

（1）住み続けられる地域の維持

①地区住民みんなで持続可能な住民自治が行われている

■財産や建物の共同管理（清滝）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 除雪機を保有している区と保有していない区で貸し借りする調整 	<ul style="list-style-type: none"> 共同管理の除雪機の購入助成

②地区で子どもを育てる体制ができている

■防犯・子ども見守り（八条、高橋）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所のロードミラー設置や通学路のグリーンベルト設置要望 クマ出没でバス通学をせざるを得ない。そのための支援

■子育て支援活動（八条、田鶴野、奈佐、城崎、竹野南、八代、福住、資母）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 高校生までを考えた子育て事業（食育、おでかけひろばの仕掛けづくり等） 子どもたちに遊びやものづくりを教える機会づくり 高校生によるイベント等の企画 学年を超えた連携グループづくり 地域コミュニティが生活の知恵を子どもへ教える 放課後児童クラブに参加していない児童との繋がりづくり 共働き世帯など子どもの預かり 伝統文化、自然の中で学んだことを子ども達へ伝える活動 子どものフリマ 子どもの遊び場の確保 子育て世帯の住宅改修費助成 おむつ費用の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の公園に防球ネットを設置 市が運営する子育てセンターを利用しやすく 空き家のリノベーション支援、市営住宅の建設 子育て支援の費用助成 小学校の施設の利用 コミュニティが行う子育て支援を見学に来てほしい 放課後児童クラブの開設場所の検討 子ども教室等、地域で子どもを預かることに関する支援 子どもの遊び場の確保に対する支援 子育て世代が移住したくなるまちになるよう市で情報発信 小学校統合による理想の教育像の提案 子育て中の母親を大切にす施策

③地区にUIターンする若者が増えている

■空き家・空き地の対応（港、八代、日高、福住、資母、合橋、高橋）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家調査（空き家マップの作成、空き地データの整理等） ・ 廃墟が出ない状況とシステムづくり ・ 持ち主への情報提供、独居宅への訪問と家族との繋がりづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代同居のメリット ・ 空き家バンク活用のPR ・ 新居を探している人への空き家情報の提供 ・ 空き家増加に対する安全面の確保 ・ 危険空き家の考え方の拡大、再考

■移住・定住の推進（三江、田鶴野、港、竹野南、国府、日高、清滝、小野）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市、コミュニティでお見合いイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用先の確保、拡大 ・ 高校三年生までの手厚い子育て施策 ・ 地域おこし協力隊の任期終了後も継続して地域と関われるよう情報提供、アドバイス ・ 移住されてくる方への支援策 ・ 子どもを産み育てやすい環境整備

（2）暮らしやすさの持続

①地区の防災力が高まっている。

■防災活動・防火活動（豊岡、八条、田鶴野、城崎、竹野南、国府、日高、三方、菅谷、福住、小野）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合住宅も含め、住民情報に変更があった場合は連絡をもらっている。他の区でも真似できるのでは ・ 各区の防災担当との情報伝達・共有の強化が必要 ・ 平日の昼間の高齢者向け防災マニュアルが市でも、コミュニティでも必要 ・ 訓練や勉強会、水源の場所などの情報共有。 ・ 危険個所の認識や避難所への非難の心得などの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民情報を更新のための情報提供 ・ 市が保有している防災用品について、払い下げできるものの提供 ・ 河川の水位等のきめ細やかな情報提供 ・ 市作成の地域防災計画の地区、各区の役割をわかりやすく表現 ・ 積雪時の電力供給に支障のある箇所解消 ・ 防災対策のための物品購入費用の支援 ・ 持ち出し可能なAEDの整備 ・ 利用しやすい防災無線の整備 ・ 避難所表記をわかりやすく、正確に整備。 ・ 避難所物品の充実と各区、個人の避難物品整備の支援 ・ 消防団の担い手不足、実態に合わせた定数の見直し

②地区で住みよい環境が守られ活かされている。

■清掃、草刈り、美化活動（五荘、新田、神美、弘道、菅谷、小坂）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 一つの区で対応できないところは、コミュニティで対応 各区の日役日程を調整して、連携する体制づくり 自走式草刈機の共同利用 コミュニティでの美化活動の情報共有。各区の美化活動を補う 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣害が住宅付近でも見られその対応 公園管理の支援 生活環境の悪化など、市の相談窓口体制。 安全面で不安がある遊歩道があるため、ハード整備の支援 観光地等、公共性が高い場所は行政も作業協力と費用負担 市道脇の植え込みの樹木管理

■耕作放棄地の解消・営農組織設立（奈佐、中竹野、国府、八代、清滝、西気、福住、小坂、合橋、高橋）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 草刈り機の利用調整 農作業の調整窓口（作業のあっせん、人の調整） 営農組合の設立 コミュニティ単位での人・農地プランの検討と多面的機能支払事業の実施 新たな導入作物の検討 耕作放棄と空き家情報をコミュニティで集約し移住推進 若手農家へ農地集積する仕組み 新しい農業（ドローンの技術講習、ソーラーの設置） 大型農機具倉庫の整備 新たな導入作物の検討と販路確保。 農業の担い手育成 各区の田んぼの草刈りの請負 遊休農地と営農希望者とのマッチング 中山間等、補助事業の事務処理 農地の利用調整 	<ul style="list-style-type: none"> リモコン付き草刈機のあっせん、購入等支援 農業への参入支援と、市による農産物のトップセールス 農機具の購入助成 田んぼの所有者確認、耕地データの提供 先進事例の提供 重機レンタルの支援 獣害対策支援 耕作放棄地対策の助成 営農人材の募集 PR と資金の助成支援 営農組合の立ち上げ支援 営農に関する助成 新規参入しやすいよう農業や農地利用に関する規制撤廃



▲地域ぐるみでの清掃活動



▲地域ぐるみでの営農活動

③地区のすべての人が支え合っている。

■高齢者への声かけ、見守り（田鶴野、新田、中竹野、国府、西気、菅谷、小坂、小野、合橋）


地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各区高年クラブでの情報交換 ・ 各区常会を通じた声掛け見守り ・ 隣保長による月に一度の声掛け ・ 区内での見守り、その方法やルールについてコミュニティで話し合い ・ 地域づくりに老人会の活躍が必要 ・ 各区でのサロン開催 ・ 高齢世帯の草刈り等サポート ・ 各区への出張サロン等、各区へ出向く活動。 ・ 一人暮らし高齢者の集い ・ 高齢者スマホ教室 ・ 行政へのつなぎ役 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区のセンターでの催し物を開催支援 ・ 高齢者リストの共有 ・ 民生委員の役割、負担の軽減 ・ 保健師など専門職の関わり ・ 緊急通報システムの貸し出し ・ 玄さん体操の助成金を手厚く ・ ホットラインの設定充実（水道メーターの検針時等） ・ 高齢者リストの提供 ・ コミュニティでもできない取組みをシルバー等へお願いする際の助成 ・ 医師の確保 ・ 市からの出前講座を通じた様々な説明・情報伝達

■サロン、介護予防、福祉（八条、城崎、国府、清滝、弘道、高橋）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張カフェの継続、カフェの実施状況の検証（対象者を絞る等） ・ 区の範囲を超えたサロンの開催 ・ 開催場所を各会館にする(出張サロン)の検討 ・ 民生委員、民生・児童協力員、福祉委員による情報交換 ・ 介護予防の講習会、健康相談 ・ サロン参加券の配布など ・ 地域の中で介護、福祉の有資格者の発掘、育成。研修、出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統廃合後の学校の空き教室を利用して市直営の福祉施設 ・ スクールバスやコバスを利用したサロンへの交通手段確保 ・ サロン等のイベントへ交通弱者が参加しやすいような支援、制度 ・ サロンでのイベントメニューのサポート ・ 防災行政無線でのサロンのPR ・ 民生委員の負担が大きく、サポート人材を増やしてほしい ・ 民生委員の待遇改善 ・ 民生委員の研修 ・ 福祉人材育成のための研修会等の費用の支援 ・ 市出前講座の柔軟な開催 ・ 民間の介護施設の人材不足に対する支援

■買い物支援・交通弱者対応

(八条、三江、田鶴野、奈佐、港、竹野南、中竹野、竹野、国府、三方、清滝、西気、福住、小坂、合橋)

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティで移動販売車を運行 ・ 買い物ツアー ・ 乗り合いタクシー。窓口をコミュニティとしたオンデマンドタクシー ・ 高齢者の買い物支援のための乗合バス運行 ・ 公共施設の維持のための利用促進 ・ コミュニティでスーパーの運営 ・ ウェブ販売 ・ 個配事業、ネット事業 ・ ネットショッピングの手続き代行サービス <div data-bbox="188 891 799 1279" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">▲貸与福祉車両での送迎活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動販売増便のための補助 ・ スーパーの誘致 ・ 移動販売の補助メニューの紹介、実施に向けた補助やアドバイス ・ タブレット普及によるオンライン買い物に繋がる支援 ・ 配達費用の検討、買い物支援のシステムづくり ・ コープの買い物支援のエリア拡大に向けたサポート ・ 車いす、シニアカーでも安心して買い物ができる道路整備 ・ 社会福祉協議会の貸与福祉車両の平日利用 ・ コバスを延長。 ・ タクシー補助券交付 ・ 全但バスルートの変更 ・ 地域交通の支援・実施における地域の思いを反映 ・ 事業者と市の検討会の中に地域コミュニティも参画 ・ イベントの支援とともに JR の存続 ・ イナカー運行の延伸とオンデマンドタクシーの支援、 ・ オンデマンドバスの整備 ・ スクールバスの利用 ・ チクタクで利用する車の支援 ・ 無人自動運転の実験実施 ・ チクタクの利用に規制があり、利用しやすい制度に

(3) 個性ある地域の誇りづくり

①地域の資源を活かして地区が豊かになっている。

■特産物の開発や加工品の生産・販売（奈佐、城崎、三方）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品開発とアイデアを汲み取る場づくり ・ 朝市の開催場所の工夫 ・ コミセンでの加工品づくりの検討 ・ 各区の情報収集とグルメ開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝市開催場所の市の敷地利用 ・ 市のイベントへの朝市参画 ・ 朝市の企業、行政との連携支援 ・ 特産品のふるさと納税返礼品への採用 ・ 特産品開発の支援、助成 ・ 販路開拓の協力

②地区の伝統や文化が次世代にうまく継承されている。

■文化・伝統行事の継承（城崎、日高、弘道）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティが各区へ出向く（祭の手伝い、伝統文化の継承支援等） ・ イベント等を通じてふるさとを大事に思う人材育成をする ・ 伝統文化の継承者の発掘 ・ 空き家から貴重な資料等の発掘・収集 ・ 文化伝承のため、隣接区同士の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統・文化等に詳しい人材の紹介 ・ 文化財の指定 ・ 資料の保管のための支援、研修 ・ 歴史・文化の担い手としての地域おこし協力隊の派遣等 ・ 歴史・文化の PR

③地区住民が学び合い豊かに生活している。

■健康、スポーツ、レクリエーション（八条、奈佐、城崎、日高、西気、福住）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりの周知・PR等、きっかけづくり ・ 運動会等、区単位のチーム編成をなくし、集まりやすい雰囲気にする ・ 子どもが参加しやすいイベントにする ・ 住民の関心が高い防災面をイベントに取り入れる ・ 区単位での取組み参加だけでなく、任意のグループでも参加できるようにする ・ 各区を巡るイベントを継続して健康づくりにも繋げたい ・ マンネリ化しているイベントの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に利用しやすい場所に屋根付きスポーツ施設の整備 ・ 廃校後の体育館の費用助成 ・ 少子化対策により、子どもが継続して参加できるように繋げてほしい ・ スポーツ 21 への支援 ・ 健康ポイントアプリが高齢者でもできるよう、スマホ教室等の実施、指導

■学校利活用（中筋、奈佐、港、竹野南、寺坂、高橋）

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉校後の草刈り等管理支援 ・ 閉校後の利用について細かい調整 ・ 閉校後利用の地元負担を減らす ・ 閉校後の体育館、グラウンドの利用 ・ 閉校後の避難所の検討 ・ 閉校後も市による施設の維持管理

●地域コミュニティ組織の運営・機能について

(1) 組織力の深化 (豊岡、五荘、新田、中筋、竹野、日高、小野、資母)

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 区とコミュニティの関わり方、連携方法の検討 区・コミュニティ・行政それぞれに役割を把握、共有 得意分野がある人が参加できる仕組みづくり。行事を人が集まる内容に見直したり、区から人が出しやすいように 行事のPR 部員にも関心を持ってもらえる工夫 若い世代の参画推進 (住民へのコミュニティの役割周知、参加しやすい雰囲気づくり) 若い世代の参画推進 (参加しやすい雰囲気づくり) 地域を考える人材育成と仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 行政のしくみの見直し (無くなって困るものかどうかの精査。各課の連携。振興局の権限等) 多文化共生に向けた、情報提供やアドバイス 市との話し合いの場づくり ジェンダーギャップ対策の推進 職員の人件費確保 地域マネージャーの待遇改善

(2) 活動力の向上 (豊岡、三江、五荘、新田、中筋、城崎、中竹野、竹野、小坂、資母)

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 公民館時代からの活動の見直しアイデア出しが必要 顔見知りを増やしていく仕組みづくり 地域活性化のアイデアを募集する 地域資源・魅力の再考による地域の観光振興と情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員も交えてアイデア出しをする場 先進事例をわかりやすく提供 指定管理の問題点と課題を共有 最低賃金の引上げにともない交付金増額 保険加入のための金銭面での支援

(3) 協働の深化 (豊岡、神美、城崎、竹野、日高、寺坂、高橋)

地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること	行政に期待すること
<ul style="list-style-type: none"> 今の若い人に共助をどう経験させ伝えていくか。コミュニティとして取り組んでいくべき。 市職員との情報共有を密にしていきたい。取組みを前に進めたい 	<ul style="list-style-type: none"> 区長の書類をすべてPDFでメール対応してほしい 市の代表メール、Fax等を知らせてほしい 市の仕事を地域に下ろして来ないでほしい 地区が取り組むべき内容について示唆をしてほしい 市職員にカフェに来てもらって意見交換ができれば 市職員が部員として参加してほしい 振興局に役割・権限があればいいと思う 市職員の専門性も必要

IV. まとめ

1 地域コミュニティ、行政に期待することの傾向

2022年度に実施した意見交換会で聞かれた意見について、全体的な傾向は次のとおりでした。

■ 地域コミュニティ組織が担うこと・期待すること

(全体の傾向として) 地区内の調整窓口(地区内の情報発信・情報共有、内容により行政区のサポート、人材の調整等)、行政区単位で出来ない取組みを担うこと等

■ 行政に期待すること

(全体の傾向として) 資金面での支援、事例紹介、市職員の参画・連携、地域の実情に即した施策の実施等

2 意見交換会の結果を踏まえた今後の地域コミュニティの推進

2022年度に実施した意見交換会で話題・テーマになった内容について、表4のとおり整理しました。特に多くの地区で話題・テーマに上がった「買い物支援・交通弱者対応」「耕作放棄地の解消・営農組織設立」等は、2021年度に実施したアンケート調査の世帯回答で「より力をいれていくべき」と回答があった内容と関連が深く(図1)、今回の意見交換で、より具体的に担っていくべき活動内容について、地域で考える機会となりました。

また、地域コミュニティ組織の運営・機能についても、地域人材不足、活動内容の見直し、必要な活動資金の確保といった内容に関心、問題意識の高まりがありました。

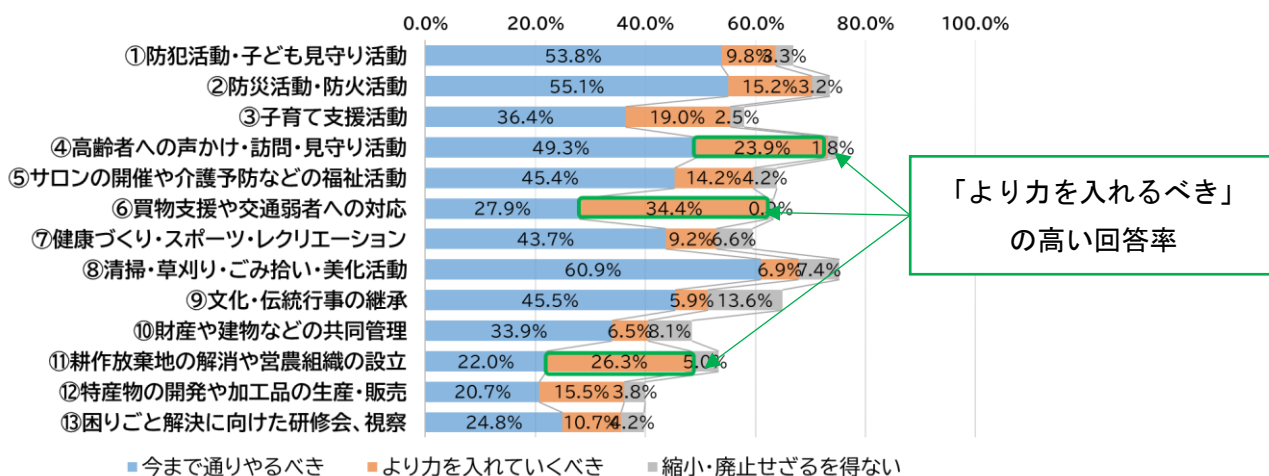


図1 地域でより力をいれていくべき活動について
小規模世帯アンケート結果(2021. n=1067)

2021年度アンケート、2022年度の意見交換会の結果から、地域情勢の変化とともに、地域ごとに関心や問題となっている内容が明らかとなりました。これらの結果を踏まえ、市は、地域コミュニティビジョンの必要な見直しと、市が進める次期アクションプランの検討を行っていきます。

2022年度 豊岡市支えあう地域のしくみを考える意見交換会実施報告書

2023年3月31日発行

発行者：豊岡市地域コミュニティ振興部コミュニティ振興課

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号